

真萱区報、祭り特集号（22年11月）

発行責任者：真萱自治会長 高橋健二

宮総代からの報告とお礼

10月23日、24日の御手洗神社秋の大祭、無事終わることが出来ました。

今回は、真萱が神輿当番と言う事から、多くの方々に協力して頂きました。

特に、祭りの段取りをして頂いた「祭り実行委員会」、具体的に活動して頂いた「真和会」、曳山に協力いただいた「婦人部」「子ども会」「真友会」「老人クラブ」、子供から年配者まで頑張っていたいただき、やれば出来る真萱を実感した祭りでした。

校区宮総代の反省会でも、真萱の頑張り様は、皆から賞賛されました。

ここに、祭り関係者を代表してお礼を申し上げます。

10月23日

13時真萱神社で安全祈願、いよいよ祭りの開始、曇りだが雨の心配は無い。

多くの人達が山を引く、子供たちが太鼓の練習の成果を発揮する。

今年は太鼓台車が出来、大活躍、笛太鼓で大いに賑わう。



10月24日

朝から小雨、いよいよ神輿担ぎ、白装束に身を包んだ40名の担ぎ手、決まっている。7時30分、神事に続き、松岡内125戸を練り歩き、肩が痛い、膝が痛い、といいながら21時30分、無事御手洗神社に到着、神事で収め。

曳山はあいにくの雨で午前中のみとなったが、婦人部、子ども会など、区民約70名の協力で、心配していた山小屋までの坂道も楽々登る。





10月31日

11時から公民館で祭り打ち上げ（約50名参加）、安藤崇宣氏捕獲の猪汁も加わり、笛太鼓で、祭り再現の賑わい。14時、お開きで祭り関係行事、全て終了。



*祭り写真は、後日回覧します。購入希望者は申し出て下さい。

会計報告

収入	金額	支出（赤は区補助項目）	金額
衣装、地下足袋代（神社）	145,000	衣装縫製、地下足袋代	103,600
神輿、曳山協力金（神社）	55,000	太鼓台車新設	50,408
賽銭	208,250	曳山備品整備、法被ゼッケン購入	45,000
区からの補助金	125,408	子ども会助成費	30,000
		飲食代（打上げ、太鼓練習他）	163,182
		雨具、保険、布、レンタル、他	90,027
計	533,658	計	482,217

*残金 533,658-482,217=51,441 円は真和会の活動費に繰り入れます。

真萱祭保存会（仮称）の発足について

区の有志から、祭り保存会を創り、笛、太鼓の練習を通じて、若い世代の育成をしたいとの声が出ています。自治会としても地区の活性化が図れることから、練習機材の整備等、協力して行きたいと考えています。

お知らせ

*真萱天神社の霜月祭を11月25日（木曜日）11時から天神社で行います。皆さんお参り下さい（当番：真萱班）。